

三峠・京都西山断層帯の新たな調査研究に基づく審議の結果について

平成 18 年 3 月 14 日
地震調査研究推進本部
地震調査委員会

地震調査研究推進本部は、「地震調査研究の推進について ―地震に関する観測、測量、調査及び研究の推進についての総合的かつ基本的な施策―」（平成 11 年 4 月 23 日）を決定し、この中において、「全国を概観した地震動予測地図」の作成を当面推進すべき地震調査研究の主要な課題とし、また「陸域の浅い地震、あるいは、海溝型地震の発生可能性の長期的な確率評価を行う」とした。

地震調査委員会では、この決定を踏まえつつ、これまでに陸域の活断層として、98 断層帯の長期評価を行い公表した。

三峠(みとけ)・京都西山断層帯の評価は平成 17 年 2 月 9 日に公表しているが、その後、京都府によって実施された平成 16 年度地震関係基礎調査交付金に基づく調査結果が明らかになった。

地震調査委員会ではこの調査結果について審議したが、断層活動に関わる新たな知見は得られていないと判断し、評価の改訂は行わないこととした。